

塩川タイムズ

秋の全国交通安全運動

九月二十一日(火)～九月三十日(木)、秋の全国交通安全運動の一環として、旧火の見やぐら横の三叉路と、日野小学校プール横の横断歩道にて、児童・生徒の通学時間帯(七時二十分～七時五十分)に合わせて街頭指導を行い、歩行者の安全確保に努めました。



育成会ハロウィーン企画

十月九日(土)、徹底した感染症対策のもと、育成会・小学校PTA支部役員主催による、ハロウィーンをテーマにした催物が開催されました。年初計画していた「子どもみこし」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とせざるを得ない状況となる中、子供たちと地域の方々との繋がりが持てる機会を作ろうと考案された代替企画です。

小学生は決められた場所(長者公園、上部公園)に時間内(一～三年生は一三時～一四時、四～六年生は一四時～一五時)に行き、合言葉”Trick or treat.. トリック・オア・トリート“(お菓子をくれないといたざらしちゃうぞ!)を言う事でお菓子や景品をもたらっていました。

集部者 雄
責任者 光
総務 藤本
発行 藤本
編集 藤本

ホームページQRコード



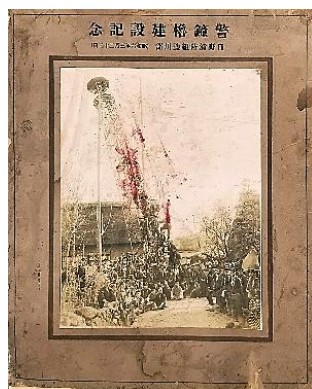
上部公園の様子



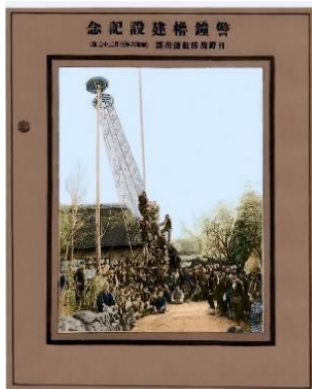
仮装してお菓子を配る育成会の渡辺会長(手前)と役員の方

「警鐘櫓建設記念」 修復して保存

九月号に掲載しました初代火の見櫓と消防団員の写真「警鐘櫓建設記念」は貴重な資料のため、データ保存し、傷の修復、染み抜き、白黒画像をカラー化し、塩川町公会堂第五会議室に飾ることになりました。



白黒の原画



修復・カラー化

写真を提供していただきました齊藤様のご承諾を得て作成しています。

特

集

後編

十月号に引き続き、「塩川町の歴史に触れる」をお届けします。

塩川町の歴史に触れる

〜其ノ肆〜

格天井絵

永隆寺の格天井絵は、旧塩川町公会堂天井に五十五枚使われました。現公会堂の仏間格天井には二十四枚の格天井絵を飾り、残り三十一枚は押入れに保管されています。また「算額」と呼ばれる数学の問題や解き方が書かれた貴重な絵馬も飾られています。



塩川町公会堂 第五会議室の仏間に飾られている二十四枚の格天井絵

塩川町の歴史に触れる

〜其ノ伍〜

永隆寺の石碑

一・庚申塔（こうしんとう）

庚申塔とは庚申信仰に基づいて建てられた石碑で、塩川町の東、須坂と境界にある墓地にあります。明治の初め永隆寺前にあったものを廃仏毀釈で寺が取り壊された際に現在地へ移されました。



庚申塔

庚申塔正面に日・月と二猿の姿が浮き彫りにされているのが、おぼろげながら見られます。（須坂市の石造文化財―ガイド編―より）
庚申とは十干・十二支の組み合わせで、六十日に一回巡ってきます。庚申の日に眠ると体内にいる三尸虫（さんしちゅう）が天帝にその人の悪事を告げ、寿命を縮めるとされており、町の人達が集まって三尸虫を押さえる力を持つ青面金剛明王を拝み、酒盛りなどをして夜を明かすのが庚申講です。

二・万霊塔（ばんれいとう）

永隆寺境内にあった仏像、什器とともに塩川町公会堂に移転されました。この万霊塔は唐破風付きの石柱で、表に「南無阿弥陀佛」（注一）、右側に「千日回向（えこう）」（注二）仏、左側に「三界（注三）萬霊（まんれい）」（注四）、裏に「元禄六年酉（一六九三）二月十五日」の文字が刻まれています。



万霊塔

（注一）南無阿弥陀佛（仏）これを念ずれば「必ず往生することができ」といわれる。「念仏」を「唱える」という。六字の名号。
（注二）回向 功德や善根を他に向け、自他ともに救われようとする。また、念仏を唱え布施など行ない冥福を祈る。
（注三）三界 一切の衆生が生死を繰り返す三つの迷いの世界。欲界、色界、無色界。
（注四）霊 「霊の異体字」（須坂市の石造文化財―ガイド編―より）

今後の行事予定

11/13 (土)	19:00～	第2回隣組長会 (奇数组) (公会堂)
11/14 (日)	19:00～	第2回隣組長会 (偶数组) (公会堂)
11/21 (日)	8:00～	公会堂清掃 (57, 58組)
11/21 (日)	19:00～	第3回隣組長会 (奇数组) (公会堂)
11/23 (火)	19:00～	第3回隣組長会 (偶数组) (公会堂)
11/28 (日)	7:00～12:00	区役員投票日 (公会堂)
11/30 (火)	7:00～9:00	第6回区費収納日 (公会堂)
12/19 (日)	8:00～	公会堂清掃 (59, 60組)
12/21 (火)	14:00～	大祓祭 (熊野神社)
12/31 (金)	23:30～	越年祭 (熊野神社)

※上記の予定は今後変更となる可能性があります。

以上、十月号に引き続き「塩川町の歴史に触れる」の後編をお届けしました。
★特集号の参考文献および参考資料
「長野県考古学会誌九・長野県須坂市塩川永隆寺廃寺址の出土遺物について（興津正朔）」は長野県立歴史館にて、「須坂市誌 第二巻 地誌・民俗編」、「須坂の文化財 寺院と堂庵」、「須坂市の石造文化財―ガイド編―」は市立須坂図書館、須坂市立博物館ほかにて閲覧できます。
詳細についてはご興味がある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。